

第3期奈良県医療費適正化計画(平成30～令和5年度)の令和元年度進捗状況について(概要)

本公表は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、本計画で定めた行動目標に対する令和元年度の達成状況や各施策の取組状況等について公表するもの

行動目標ごとの令和元年度進捗状況

○本計画で定めた数値目標(16項目)の令和元年度(単年度)想定目標値に対する達成状況は、以下のとおり

達成	未達成	国による関連データが公表されていないもの
3項目	8項目	5項目
<ul style="list-style-type: none"> 高度急性期または重症急性期を標榜する病院数 34(目標 37未満に集約) 自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数 32(目標 32以上) 糖尿病性腎症による新規人工透析患者数 211人(目標 218人以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の使用割合(国保・後期) 71.0%(目標 80%以上) 15種類以上の薬剤を投与されている患者(国保+後期)割合 6.1%(目標 5.4%以下) 喫煙率 13.2%(目標 11.2%以下) など 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の実施率 特定保健指導の実施率 特定保健指導対象者の減少率 など

行動目標	数値目標(達成年度)	R1想定目標値	R1実績値	達成状況	主な取組	(参考)H30実績値及び達成状況	
I 医療の効率的な提供の推進							
1 急性期から回復期、慢性期、在宅医療、介護までの一貫した体制の構築							
(1)医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	○地域医療構想に基づく病院機能の分化・連携の推進						
	○重症急性期機能の集約	病床数を増やさない(R7) 病院数の減少(R7)	病床数 5,885以下 病院数 37未満に集約	病床数 5,937 病院数 34	病床数 ×未達成 病院数 ○達成	「面倒見のいい病院指標」のブラッシュアップ、公立・公的医療機関への適正な医師配置、地域医療構想調整会議等での医療・介護関係者間での意見交換・情報共有、ICTを活用したへき地診療所医師・看護師への支援	病床数 6,200 病院数 36 病床数 ×未達成 病院数 ○達成
(2)地域包括ケアシステムの構築と過不足のない効果的な介護サービス提供体制の整備	○自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数	39市町村(R2)	32市町村以上	32市町村	○達成	自立支援型地域ケア会議の実施市町村の増加、医療機関間や医療機関と介護事業所間の情報共有を行うためのICTシステムの効果検証・分析、入退院調整ルール策定市町村の増加	22市町村 △増加したが未達成
	○後発医薬品の使用割合(数量ベース)	80%以上(R1)	80%以上	71.0%(国保・後期) (未公表(全保険者))	△上昇したが未達成	県内3地域(桜井、大和高田、橿原)で医薬品適正使用促進地域協議会の運営、医療機関へ個別働きかけ、医療機関への使用促進要請文書の発出、広報紙・新聞等での県民へ啓発、後発医薬品差額通知の作成・発送	67.9%(国保・後期) (69.1%(全保険者)) 46位 △上昇したが未達成
2 後発医薬品の使用促進	○後発医薬品の使用割合(数量ベース)	全国1位の水準(R5)	31位	未公表	—	—	—
3 医薬品の適正使用(重複・多剤投薬、残薬対策)	○15種類以上の薬剤を投与されている患者(国保+後期)割合	3.5%以下(R5)	5.4%以下	6.1%	△減少したが未達成	医療関係者向け研修会の開催、県内3地域で医薬品適正使用促進地域協議会の運営、出張セミナー等での県民への啓発、お薬手帳・残薬バッグの普及啓発、服薬情報通知の作成・発送	6.6% ×未達成
4 糖尿病重症化予防の推進	○糖尿病性腎症による新規人工透析患者数	196人以下(R5)	218人以下	211人	○達成	糖尿病専門医の養成、受診勧奨通知・保健指導、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの研修等の実施	215人 ○達成
5 療養費の適正化	○1人当たり医療費(国保+後期)	全国平均以下(R5)	全国平均未公表	3,831円	—	療養費の点検・調査、適正利用啓発、専門職員の配置	3,973円 ×未達成
6 医療に関する情報提供の推進	○本県の医療の質の向上に向けて、医療機能の「見える化」を推進して広く県民に各種の医療情報を提供するとともに、医療機関による自らの取組を促す						
7 公立医療機関における医療費適正化等の取組	○公立医療機関における医療費適正化の取組とそれを支える公立医療機関の費用構造改革を徹底し、取組状況を積極的に開示						
II 県民の健康の保持の推進							
1 特定健康診査及び特定保健指導の実施率向上	○特定健康診査の実施率	70%以上(R5)	53.3%以上	未公表	—	未受診者への受診勧奨、個人向け健康ポータルサイトの開設、被扶養者対象の集団健診の実施	46.8% △上昇したが未達成
	○特定保健指導の実施率	45%以上(R5)	26.9%以上	未公表	—	未利用者への利用勧奨、巡回型保健指導・訪問型保健指導の実施	22.2% △上昇したが未達成
2 生活習慣病予防に向けた生活習慣の改善	○特定保健指導対象者の減少率(対平成20年度比)	25%以上(R5)	14.6%以上	未公表	—	野菜摂取・減塩の普及啓発、おでかけ健康法の普及、高齢者の運動・スポーツ活動に取り組むきっかけづくりの推進、健康づくりセミナーの実施、シルバー人材センターでの就労に関する啓発	8.4% ×未達成
3 喫煙対策	○喫煙率	9.9%(R4)	11.2%以下	13.2%	×未達成	禁煙支援ツールの配布、法改正に伴う周知啓発、受動喫煙相談窓口の設置、禁煙外来受診を促す通知の発出	11.9% △低下したが未達成
4 がん検診の受診率の向上	○がん検診の受診率	50%(5がんとすべて)(R4)	胃がん 43.1%以上 肺がん 44.2%以上 大腸がん 44.5%以上 子宮がん 44.2%以上 乳がん 45.4%以上	胃がん 42.1% 肺がん 44.8% 大腸がん 42.8% 子宮がん 42.5% 乳がん 45.1%	△肺がんは達成 他は上昇したが未達成	「がん検診を受けよう!」奈良県民会議の開催、「奈良県がん検診応援団」認定団体の増加、がん検診費用の一部助成、特定健康診査とがん検診の同時実施	調査年度非該当 —
5 歯と口腔の健康の推進	○歯科医師による定期チェック(年1回)の割合	50%(R4)	男性 44.9%以上 女性 48.5%以上	男性 42.7% 女性 52.9%	△男性は上昇したが未達成 女性は達成	歯科検診受診勧奨、口腔保健支援センターの運営、在宅歯科医療に関する相談業務、歯科医師や歯科衛生士の派遣による歯科検診・口腔指導	男性 42.3% 女性 51.1% △男性は上昇したが未達成 女性は達成
III 介護給付の適正化							
1 要介護認定の適正化	○65歳平均要介護期間	全国平均未満(R2)	男性 1.59年 女性 3.34年	男性 1.70年 女性 3.68年	×未達成	市町村の要介護認定率の地域差を正に係る情報提供、認定調査員研修の実施、専門職やスーパーバイザーの派遣	男性 1.78年 女性 3.69年 ×未達成
2 自立支援や重度化防止に繋がる効果的な介護給付の推進	○要介護認定率の市町村格差(年齢調整後)の是正	格差の是正(R2)	格差2.3ポイント以内	格差6.0ポイント	△格差は是正されたが未達成	によるケアプラン点検の質の向上	格差7.6ポイント ×未達成

※・R1想定目標値…年度ごとに目指すべき想定指標として、計画開始前のH29(一部28)年度の実績値を基準に目標値までの差分を目標達成年度までの年数で均等割り等したもの
 ・R1実績値の「未公表」…実績値にかかる関連データが厚生労働省等から令和3年2月18日時点で公表されていないもの
 ・(参考)H30実績値及び達成状況で着色したものは、平成30年度進捗状況公表時点で「国等による関連データが公表されていないもの」に該当していたもの

令和元年度進捗状況における主な課題と次年度以降の主な対応

施策	主な課題	次年度以降の主な対応
後発医薬品の使用促進	<ul style="list-style-type: none"> 使用割合の低い医療機関が存在する 後発医薬品の意義・必要性についての県民・医療関係者への啓発が十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> 使用割合の低い医療機関に対して訪問や文書により働きかけを強化 各保険者において広報ツールを活用して効果的に啓発・広報
医薬品の適正使用促進(重複・多剤投薬、残薬対策)	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者との重複・多剤投薬対策に関する更なる連携が必要 医薬品適正使用の意義・必要性についての県民・医療関係者への啓発が十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者向け講習会や医薬品適正使用促進地域協議会での効果的実施 重複・多剤等服薬者に対する注意喚起文書の送付や訪問指導を実施
特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 市町村国保など一部保険者における特定健康診査実施率が低い 特定保健指導を受けやすくするための実施手法の工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診との同時実施による利便性の向上 ICTを活用した非対面式の特定保健指導面談を実施